SEKISUI

セキスイ熱膨張耐火材
フィブロックNEO®
ケーブル区画貫通措置部材
PF管・ケーブル貫通

国土交通大臣認定品

取扱説明書

貫通する防火区画
ALC/コンクリート壁・床
中空壁/押出成形セメント板壁
準耐火45分壁、片壁

製品内容

品名 フィブロックNEO®		品番	1開口当たりの内容				
			フィブロックNEOシート 厚み×縦×横(㎜)	枚数	ビス	ワッシャー	被覆付針金
片側施工(壁・床用)	φ80以下	SKCCC01	4×110×110	1枚	呼び径4 長さ40㎜ 4本	外径φ20 厚さ1㎜ 4個	300㎜×1本
	φ110以下	SKCCC02	4×140×140	1枚			410㎜×1本
	φ160以下	SKCCC03	4×190×190	1枚			600㎜×1本
両側施工(中空壁用)	φ80以下	SKCCC04	3×110×110	2枚	呼び径4 長さ25㎜ 8本	外径φ20 厚さ1㎜ 8個	300㎜×2本
	φ110以下	SKCCC05	3×140×140	2枚			410㎜×2本
	φ160以下	SKCCC06	3×190×190	2枚			600㎜×2本

※ ビス・ワッシャー(各100個入)別売
品番：HCJM005(片側施工用)・HCJM006(両側施工用)

フィブロックNEO
片側施工(片壁・ALC/RC壁 床・コンセントボックス用)

フィブロックNEO 両側施工(中空壁用)

国土交通大臣認定シールのご案内

弊社では、防火区画貫通部の措置にフィブロック区画貫通措置部材をご使用いただいた場合、国土交通大臣認定を取得していることを示す『認定シール』をご用意しております。ご請求方法は、1現場ごとに弊社フィブロックHPの「認定シール・評定マーク/評定一括プレート申請」よりご請求願います。申請内容を確認の上、ご請求枚数の『認定シール』を送付させていただきます。

WEB申請はこちらから

https://anet.sekisui.co.jp/fp_doc_dl/webshinsei.aspx

適用範囲① PF/CD管・ケーブル貫通工法

●用途／電気配線

			壁				床	
国土交通大臣認定番号			PS060WL-1169-2	PS060WL-1171	PS045WL-1172	PS060WL-1301 (PS060WL-1170)*1	PS060FL-1236	
壁または床の仕様(国土交通大臣が指定もしくは認定した壁・床)		仕様	片壁(片面強化石こうボード重張り)	中空壁/押出成形セメント板壁	準耐火45分壁	ALC/コンクリート壁	ALC床	コンクリート床
		厚さ	42㎜以上	60㎜以上	74㎜以上	75㎜以上	100㎜以上	75㎜以上
開口		形状	円　形					
		寸法	φ160㎜以下			φ165㎜以下 (φ280㎜以下)*2	φ160㎜以下(φ280㎜以下)*3	
貫通物	ケーブル	導体(又は芯線)の断面積	325㎟以下(1本あたり) 1734㎟以下(総合計)			325㎟以下(1本あたり) 1776㎟以下(総合計)	325㎟以下(1本あたり) 1659㎟以下(総合計)	
	合成樹脂製可とう電線管	PF管・CD管(JIS C 8411)	PF管 呼び径42(外径52㎜)以下 CD管 呼び径42(外径48㎜)以下			PF管 呼び径54(外径65.3㎜)以下 CD管 呼び径54(外径60.8㎜)以下 波付硬質ポリエチレン管(FEP管) 呼び径80(外径φ102㎜)以下 硬質ポリ塩化ビニル電線管(VE管) 呼び径100(外径φ114㎜)以下		
本数			本数制限なし					
占積率			84.2%以下			90.1%以下	90.0%以下	
			開口面積に対するケーブル・電線管の断面積合計の割合					
使用製品			フィブロックNEO・片側施工用 ※両側施工用は使用しないでください。	フィブロックNEO・両側施工用		フィブロックNEO・片側施工用 ※両側施工用は使用しないでください。		

●詳しくは各認定書をご確認ください。

*1 PS060WL-1170はPS060WL-1301に包含する
*2 壁施工時に鋼製スリーブ又は塩ビスリーブをモルタルで埋め戻す場合
*3 床施工時に鋼製スリーブをモルタルで埋め戻す場合

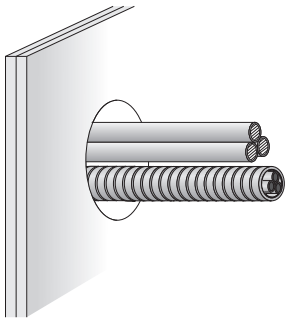
認定書・評定書一覧はこちらから
https://www.fiblock.com/downloads/

標準施工例① PF/CD管･ケーブル貫通工法（壁）

◎施工手順

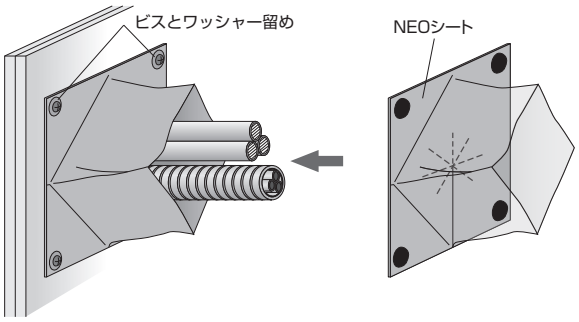
1.PF/CD管･ケーブルの敷設

●開口部を設置します。
●PF/CD管･ケーブル等を敷設します。



2.NEOシートの貼り付け

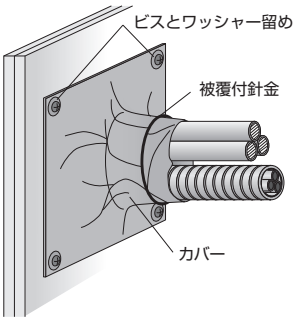
●付属のビス、ワッシャーを用いてNEOシートの4隅を留め付けます。
※NEOシートの●印を目安に留め付けてください。



片壁・ALC/RC 壁には片側施工用のシート（水色）を、
中空壁には両側施工用のシート（赤色）をご使用ください。

3.カバーの固定

●カバーをPF/CD管･ケーブル等に沿わせ、施工側から反対側への隙間が生じないように塞いでください。
●カバー端部を被覆付針金で、PF/CD管･ケーブル等に縛り、固定してください。



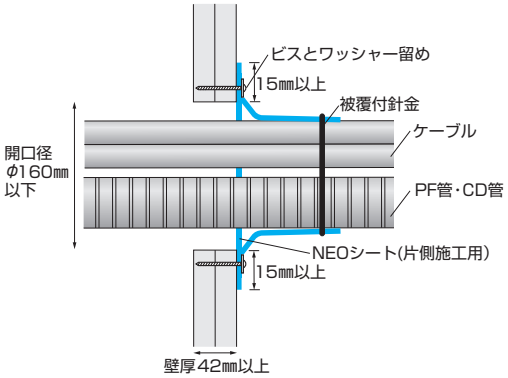
ポイント

- 付属のビスとワッシャーをご使用ください。
- NEOシートの●印を留付目安にしてください。
- コンクリートの場合は、必ず下穴をあけてからご使用ください。

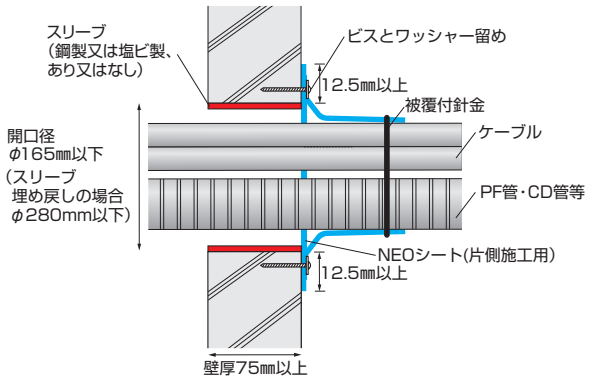
◆開口部の「充てん材」は不要です。
◆中空壁の場合は反対側も同様に施工してください。

◎標準施工図

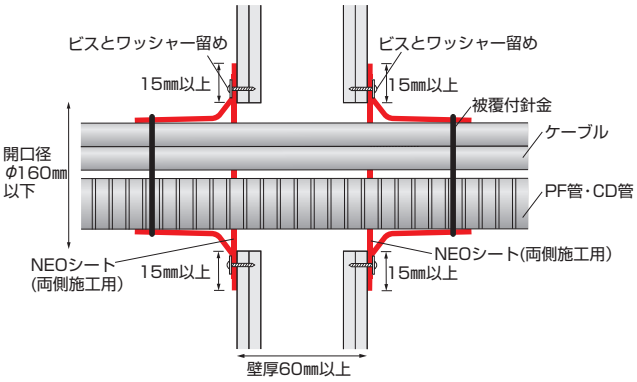
●PS060WL-1169-2の場合（片壁）



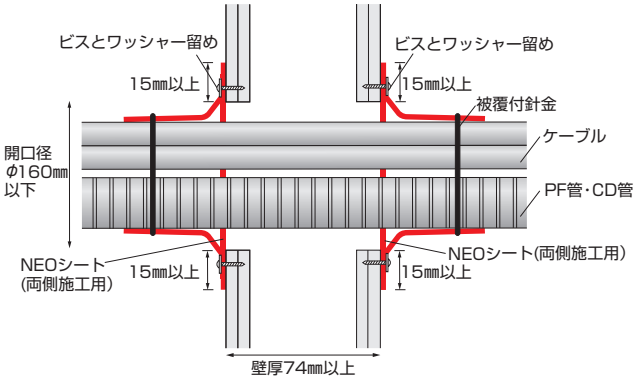
●PS060WL-1301の場合〈PS060WL-1170を包含する〉（ALC/コンクリート壁）



●PS060WL-1171の場合（中空壁）



●PS045WL-1172の場合（準耐火45分の壁）



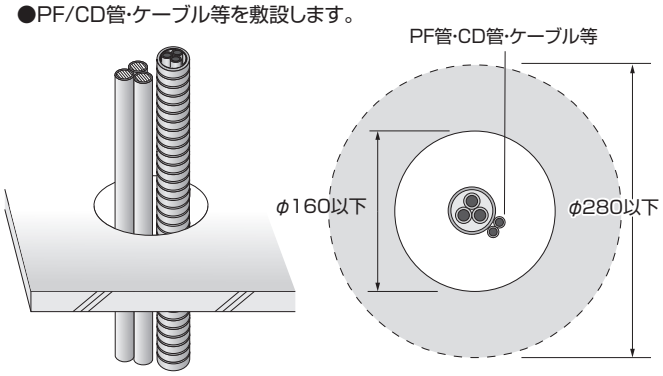
標準施工例② PF/CD管･ケーブル貫通工法（床）

◎床上側施工の場合

1.PF/CD管･ケーブル等の敷設

●PF/CD管･ケーブル等のサイズ、本数に応じて適正な占積率となるように開口部を設けます。

●PF/CD管･ケーブル等を敷設します。

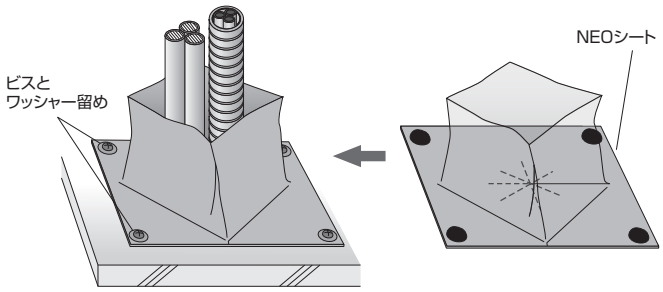


※φ280mm以下は鋼製スリーブで埋め戻す場合

2.NEOシートの貼り付け

●付属のビス、ワッシャーを用いてNEOシートの4隅を床面に留め付けます。

※NEOシートの●印を目安に留め付けてください。

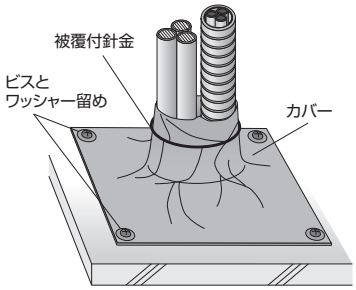


床には片側施工用のシート（水色）を、ご使用ください。

3.カバーの固定

●カバーをPF/CD管･ケーブル等に沿わせ、床下側への隙間が生じないように塞いでください。

●カバー端部を被覆付針金で、PF/CD管･ケーブル等に縛り、固定してください。



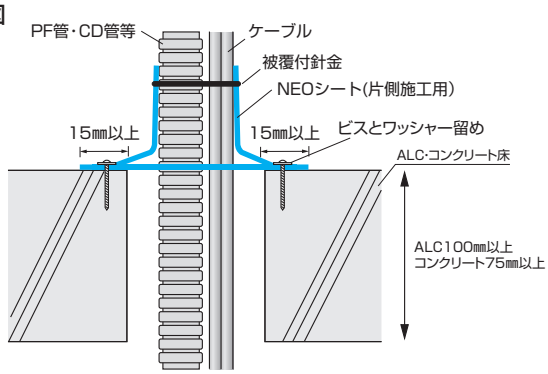
ポイント

- 付属のビスとワッシャーをご使用ください。
- NEOシートの●印を留付目安にしてください。
- コンクリートの場合は、必ず下穴をあけてからご使用ください。
- 床上側に鋼製スリーブが立ち上がっている場合は施工できません。

◆開口部の「充てん材」は不要です。

●PS060FL-1236の場合（ALC/コンクリート床 ）

施工断面図

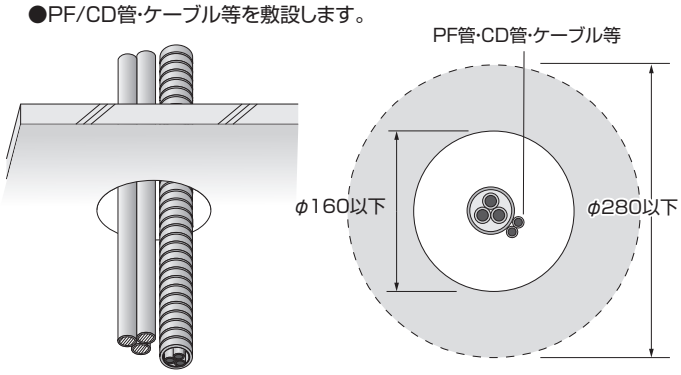


◎床下側施工の場合

1.PF/CD管･ケーブル等の敷設

●PF/CD管･ケーブル等のサイズ、本数に応じて適正な占積率となるように開口部を設けます。

●PF/CD管･ケーブル等を敷設します。

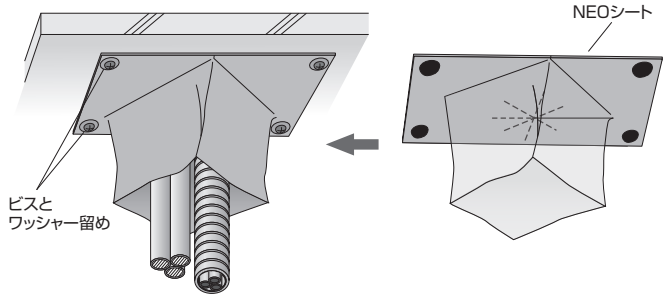


※φ280mm以下は鋼製スリーブで埋め戻す場合

2.NEOシートの貼り付け

●付属のビス、ワッシャーを用いてNEOシートの4隅を天井面に留め付けます。

※NEOシートの●印を目安に留め付けてください。

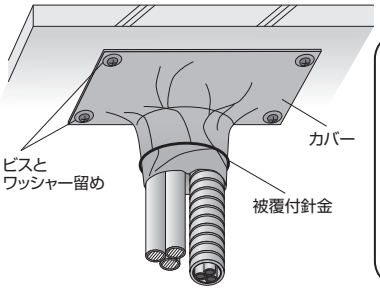


床には片側施工用のシート（水色）を、ご使用ください。

3.カバーの固定

●カバーをPF/CD管･ケーブル等に沿わせ、天井側から上階側への隙間が生じないように塞いでください。

●カバー端部を被覆付針金で、PF/CD管･ケーブル等に縛り、固定してください。



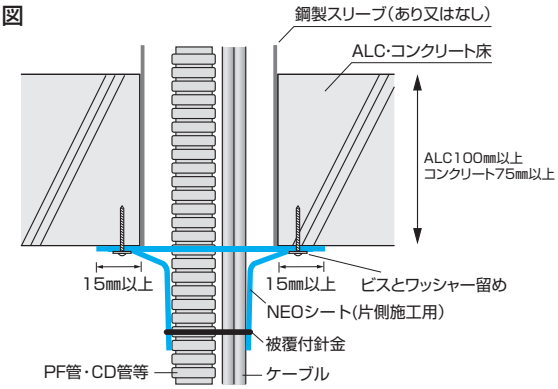
ポイント

- 付属のビスとワッシャーをご使用ください。
- NEOシートの●印を留付目安にしてください。
- コンクリートの場合は、必ず下穴をあけてからご使用ください。
- 鋼製スリーブを使用する際は下側より施工してください。

◆開口部の「充てん材」は不要です。

●PS060FL-1236の場合（ALC/コンクリート床 ）

施工断面図



適用範囲③ アウトレットボックス(コンセントボックス)工法

●用途／電気配線

国土交通大臣認定番号		PS060WL-1290		PS060WL-1173-1		PS045WL-1177	
壁の仕様(国土交通大臣が指定もしくは認定した壁)	仕様	中空壁		中空壁		準耐火45分壁	
	厚さ	100㎜以上(1～2個用)		100㎜以上(1～3個用) 115㎜以上(4～6個用)		94㎜以上(1～3個用)	
開口寸法	電線管貫通部	円形:φ110㎜以下	矩形:110×110㎜以下	円形:φ110㎜以下	矩形:110×110㎜以下	円形:φ110㎜以下	矩形:110×110㎜以下
	アウトレットボックス部(コンセントボックス)	矩形:100×100㎜以下		矩形:290×100㎜以下		矩形:150×100㎜以下	
アウトレットボックス(コンセントボックス)	サイズ	2個用以下		6個用以下		3個用以下	
	寸法	136(±4)×122(±4)×45(±4)㎜以下		320(±4)×117(±4)×54(±4)㎜以下		182(±4)×117(±4)×44(±4)㎜以下	
	厚さ	2.5(±0.4)～3.5(±0.4)㎜以下(樹脂製) 1.6㎜以上(鋼製または鋳鉄製)		1.6㎜以上(鋼製または鋳鉄製)			
	材料	樹脂製(ポリ塩化ビニル樹脂系)、鋼製または鋳鉄製		鋼製または鋳鉄製			
ケーブル	導体(又は芯線)の断面積	8.64㎟以下(1本あたり) 40.1㎟以下(総合計)		22㎟以下(1本あたり) 177.5㎟以下(総合計)		22㎟以下(1本あたり) 67.6㎟以下(総合計)	
合成樹脂製可とう電線管	PF管･CD管(JIS C 8411)	あり又はなし ありの場合：呼び径16(外径23.0㎜)以下		あり又はなし ありの場合：呼び径28(外径36.5㎜)以下		あり又はなし ありの場合：呼び径22(外径30.5㎜)以下	
占積率		26.4%以下		55.8%以下(1～3個用) 52.6%以下(4～6個用)		55.8%以下	
		アウトレットボックス(コンセントボックス)の貫通孔の面積に対するケーブル断面積の総合計の割合					
備 考		強化石こうボード重張		普通石こうボード重張			
		遮音シートコンセントボックス用(品番TBCN001)あり又はなし					
		遮音性を求められる場合等、必要に応じてアウトレットボックス貫通孔にセキスイ耐火パテ(品番NCJM001)を充てん出来ます					
使用製品		フィブロックNEO･片側施工用 ※両側施工用は使用しないでください。					

●詳しくは各認定書をご確認ください。

標準施工例③ アウトレットボックス(コンセントボックス)工法

◎施工手順

《PF/CD管・ケーブル貫通部の施工》

1.PF/CD管･ケーブルの敷設

●開口部を設置します。

●PF/CD管･ケーブル等を敷設します。

2.NEOシートの貼り付け

●付属のビス、ワッシャーを用いてNEOシートの4隅を留め付けます。

※NEOシートの●印を目安に留め付けてください。

> アウトレットボックス(コンセントボックス)工法には片側施工用のシート(水色)をご使用ください。

3.カバーの固定

●カバーをPF/CD管・ケーブル等に沿わせ、施工側から反対側への隙間が生じないように塞いでください。

●カバー端部を被覆付針金で、PF/CD管･ケーブル等に縛り、固定してください。

《アウトレットボックス(コンセントボックス)部の施工》

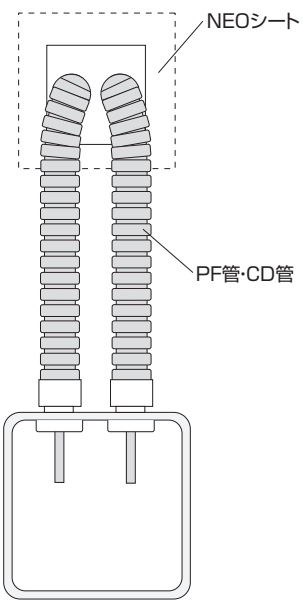
1.ボックスの設置

●ボックスを支持金具を使用して壁下地材に取り付けます。

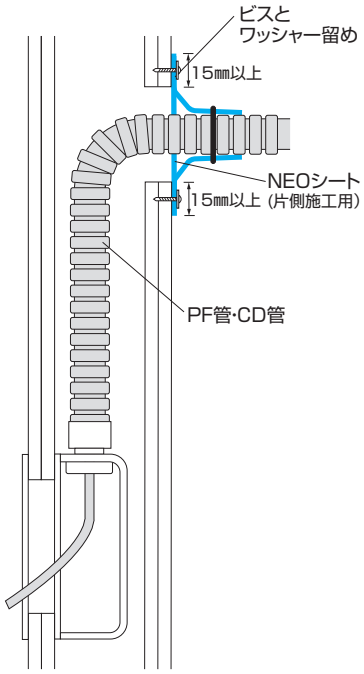
●開口部を設置します。

◎標準施工状態

【壁内の状態】



【断面図】



> アウトレットボックス(コンセントボックス)部の「PF管シート」と「充てん材」は不要です。

⚠ 注意事項

●フィブロックの用途、使用条件の詳細については各認定書・評定書、カタログをご確認ください。
●区画貫通措置以外の目的には使用しないでください。
●フィブロックの幅は規定の寸法となっていますので、幅を変えて使用しないでください。
●ケーブルや電線管の支持機能はありません。別途、支持固定を行ってください。
●別途内線規程がある場合、遵守して施工してください。
●防水機能はありません。必要な場合には別途、防水処理を行ってください。
●必要に応じて、手袋や保護めがね等、適切な保護具を使用してください。
●水濡れや直射日光、高温下は避けて運搬・保管してください。
●紫外線や水、薬品等のかかるところ、高温多湿の環境下、結露する場所では使用しないでください。
●製品に局所的な荷重が加わると、潰れなどの変形や破れの恐れがあるため、保管や輸送の際はご注意ください。
●残材や使用後の廃材の処分は、法令及び地方自治体の条例に従ってください。
●防火区画貫通について不明な点は、所轄の行政機関へご確認ください。

製造元 積水化学工業株式会社
耐火材料事業部
https://www.sekisui.co.jp/fp/

販売元 積水マテリアルソリューションズ株式会社
耐火資材営業所
〒103-0023　東京都中央区日本橋本町4-3-6
TEL 03(6744)5806　FAX 03(6744)5807
●お問い合わせは上記連絡先にお願いいたします。

＊本製品は改良のため予告なく仕様変更する場合があります。

ツールコード
No. 07366
(FP066T)
2025. 1. TX